

四半期報告書

(第115期第1四半期)

自 平成21年4月1日
至 平成21年6月30日

わがもと製薬株式会社

東京都中央区日本橋室町一丁目5番3号

表紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 事業等のリスク	4
3 経営上の重要な契約等	4
4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	5

第3 設備の状況	7
----------	---

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	8
(2) 新株予約権等の状況	8
(3) ライツプランの内容	8
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	8
(5) 大株主の状況	8
(6) 議決権の状況	9

2 株価の推移	9
---------	---

3 役員の状況	9
---------	---

第5 経理の状況	10
----------	----

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	11
(2) 四半期連結損益計算書	13
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14

2 その他	22
-------	----

第二部 提出会社の保証会社等の情報	23
-------------------	----

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年8月11日
【四半期会計期間】	第115期第1四半期（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）
【会社名】	わかもと製薬株式会社
【英訳名】	WAKAMOTO PHARMACEUTICAL CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石井 敬志
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋室町一丁目5番3号
【電話番号】	東京（03）3279局0371番（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 増田 康彦
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋室町一丁目5番3号
【電話番号】	東京（03）3279局0371番（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 増田 康彦
【縦覧に供する場所】	わかもと製薬株式会社 大阪支店 （大阪市東淀川区豊里六丁目29番6号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第114期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第115期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第114期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 6月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	2,534,801	2,272,137	10,080,276
経常利益又は経常損失(△)(千円)	280,731	△101,986	607,372
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)(千円)	161,132	△63,674	351,361
純資産額(千円)	13,003,248	12,734,984	12,763,150
総資産額(千円)	18,449,732	18,551,109	17,745,048
1株当たり純資産額(円)	377.29	369.93	370.70
1株当たり四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)(円)	4.67	△1.85	10.20
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	70.48	68.65	71.93
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	553,055	193,584	824,582
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	534,912	△1,004,136	△189,320
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	△71,175	543,918	△187,329
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	3,032,099	2,196,605	2,463,239
従業員数(人)	443	466	435

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3 【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年6月30日現在

従業員数（人）	466	(91)
---------	-----	------

(注) 従業員は就業人員であり、臨時雇用者数（嘱託、パートタイマー、派遣社員等）は、当第1四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年6月30日現在

従業員数（人）	455	(80)
---------	-----	------

(注) 従業員は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む）であり、臨時雇用者数（嘱託、パートタイマー、派遣社員等）は、当第1四半期会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績及び仕入実績

イ 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (当 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同四半期比 (%)
医療用医薬品事業 (千円)	1,132,574	67.6
化粧品事業 (千円)	502,871	92.9
その他の事業 (千円)	142,328	45.6
合計 (千円)	1,777,774	70.3

(注) 1. 金額は売価換算であります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

ロ 仕入実績

当第1四半期連結会計期間の商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同四半期比 (%)
医療用医薬品事業 (千円)	127,975	212.9
化粧品事業 (千円)	—	—
その他の事業 (千円)	38,766	76.2
合計 (千円)	166,742	125.6

(注) 1. 金額は実際仕入額であります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. セグメント間の取引については、相殺処理しております。

(2) 受注状況

販売計画に基づいて生産計画を立て、これにより生産を行っております。従って受注生産は行っておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同四半期比 (%)
医療用医薬品事業 (千円)	1,540,503	92.6
薬粧品事業 (千円)	485,310	95.1
その他の事業 (千円)	246,322	68.2
合計 (千円)	2,272,137	89.6

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺処理しております。

2. 前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
(株)メディセオ・パルタックホールディングス	349,902	13.8	330,811	14.6
(株)スズケン	341,244	13.5	319,784	14.1

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループの事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の概況

当第1四半期連結会計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、また、大衆薬市場も低迷が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあつて当社グループの医療用医薬品事業では、主力製品である「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンT G点眼液」、「ゼペリン点眼液0.1%」等の眼科領域製剤の販売促進に加え、昨年発売のアレルギー性結膜炎治療剤「レボカバスチン塩酸塩点眼液0.025%わかもと」、広範囲抗菌剤「オフロキサシンゲル化点眼液0.3%わかもと」の後発品点眼薬2品目および、アレルギー性結膜炎迅速検査キット「アレルウォッチ涙液I g E」の普及活動に注力いたしました。

薬粧品事業では、主力製品「強力わかもと」の剤形追加製品として「顆粒わかもと」を昨年から発売し幅広いユーザーニーズに対応出来るよう販売活動に努めてまいりました。

その他の事業では、海外向け乳酸菌および点眼剤、医薬品原料の販売と他社受託品の受注に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高22億7千2百万円(前年同四半期比10.4%減)となり、営業損失1億6千9百万円(前年同四半期は営業利益2億2百万円)、経常損失1億1百万円(前年同四半期は経常利益2億8千万円)、四半期純損失6千3百万円(前年同四半期は四半期純利益1億6千1百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

事業別の売上高の状況につきましては、医療用医薬品事業では、新発売の点眼製品3品目が売上に寄与しましたが、「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンT G点眼液」、「ゼペリン点眼液0.1%」が減少いたしました。その結果、売上高は15億4千万円(前年同四半期比7.4%減)となりました。

薬粧品事業につきましては、主力製品の「強力わかもと」、乳酸菌配合薬用歯磨き「アバンビーズ」が減少いたしました。その結果、売上高は4億8千5百万円(前年同四半期比4.9%減)となりました。

その他の事業では、輸出用「わかもと」は増加しましたが、海外向け乳酸菌および点眼剤が減少いたしました。その結果、売上高は2億4千6百万円(前年同四半期比31.8%減)となりました。

(2) 財政状態

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、185億5千1百万円となり前連結会計年度末比8億6百万円(4.5%増)の増加となりました。流動資産は84億1千8百万円となり4億5千6百万円(5.1%減)の減少、固定資産は101億3千2百万円となり12億6千3百万円(14.2%増)の増加となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、設備関係の支払により現金及び預金が減少したことが主たる要因であり、固定資産が増加いたしましたのは、相模大井工場において点眼剤製造設備建設のため、有形固定資産(建設仮勘定)が増加したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、58億1千6百万円となり前連結会計年度末比8億3千4百万円(16.7%増)の増加となりました。流動負債は35億7千8百万円となり2億7千8百万円(8.4%増)の増加、固定負債は22億3千7百万円となり5億5千5百万円(33.0%増)の増加となりました。

流動負債が増加いたしましたのは、設備関係の未払金が増加したことが主たる要因であり、固定負債が増加いたしましたのは、長期借入金が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、127億3千4百万円となり前連結会計年度末比2千8百万円(0.2%減)の減少となりました。利益剰余金が減少したことが主たる要因であります。この結果、自己資本比率は、前期末の71.9%から68.6%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末におけるキャッシュ・フローの残高は、前連結会計年度末から2億6千6百万円減少し、21億9千6百万円となりました。その内容の主なものは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において営業活動により増加した資金は1億9千3百万円となりました。(前年同四半期に比べ収入が3億5千9百万円減少)

この主な要因は、非資金支出項目である減価償却費が1億5千万円、売上債権の減少が2億5百万円あった一方、税金等調整前四半期純損失が9千9百万円、賞与引当金の減少が1億7千3百万円、法人税等の支払が1億1千7百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において投資活動により減少した資金は10億4百万円となりました。(前年同四半期は5億3千4百万円の資金の増加)

この主な要因は、有形固定資産(主に相模大井工場の設備)の取得が9億9千3百万円あったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において財務活動により増加した資金は5億4千3百万円となりました。(前年同四半期は7千1百万円の資金の減少)

この主な要因は、長期借入れによる収入が6億1千5百万円あった一方、配当金の支払が6千9百万円あったためであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結会計期間における当社グループの研究開発活動の金額は2億2千2百万円であります。なお、当第1四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因と経営方針

医薬品業界では、医療制度改革による医療費抑制策が継続されるなか、厳しさが続いております。

その中で、自社の強みである「眼科領域」・「強力わかもとブランド」・「乳酸菌製造技術」を経営の柱とし、これらの事業に研究開発、生産及び販売体制の経営資源を重点的に配分し、生産基盤を強化していく方針です。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。なお、相模大井工場の品質管理設備は平成21年6月の完了予定でしたが、平成21年7月に完了いたしました。また、新点眼剤製造設備は平成21年7月に完了を予定していましたが、平成21年8月に完了する予定です。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年8月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	34,838,325	34,838,325	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら 限定のない当社 における標準と なる株式であ り、単元株式数 は1,000株であ ります。
計	34,838,325	34,838,325	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年4月1日～ 平成21年6月30日	—	34,838,325	—	3,395,887	—	2,675,826

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成21年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 408,000	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 33,702,000	33,702	—
単元未満株式	普通株式 728,325	—	—
発行済株式総数	34,838,325	—	—
総株主の議決権	—	33,702	—

（注） 「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株（議決権の数3個）含まれております。

② 【自己株式等】

平成21年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
わかもと製薬株式会社	中央区日本橋室町1丁目5番3号	408,000	—	408,000	1.17
計	—	408,000	—	408,000	1.17

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月
最高（円）	409	412	403
最低（円）	388	394	346

（注） 最高・最低株価は東京証券取引所市場第一部によるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当第1四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、京橋監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	985,220	1,252,442
受取手形及び売掛金	3,954,297	4,159,825
有価証券	1,211,384	1,210,796
商品及び製品	963,775	1,016,674
仕掛品	439,414	414,914
原材料及び貯蔵品	388,890	354,997
未収消費税等	26,110	78,086
繰延税金資産	346,627	297,435
その他	122,256	111,781
貸倒引当金	△19,000	△21,000
流動資産合計	8,418,978	8,875,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,039,532	2,060,049
機械装置及び運搬具（純額）	948,315	1,030,573
土地	337,241	337,241
建設仮勘定	3,230,172	1,990,188
その他（純額）	140,624	132,638
有形固定資産合計	* 6,695,886	* 5,550,691
無形固定資産		
特許権	5,156	6,875
借地権	67,707	67,707
ソフトウェア	49,051	50,621
その他	6,318	6,343
無形固定資産合計	128,234	131,547
投資その他の資産		
投資有価証券	1,767,526	1,559,044
保険積立金	730,208	723,479
繰延税金資産	581,618	674,630
その他	228,657	229,702
投資その他の資産合計	3,308,010	3,186,856
固定資産合計	10,132,130	8,869,095
資産合計	18,551,109	17,745,048

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	908,746	984,767
未払金及び未払費用	991,656	655,218
短期借入金	38,000	—
未払法人税等	8,735	130,604
未払消費税等	553	888
賞与引当金	119,580	292,900
役員賞与引当金	—	21,130
返品調整引当金	10,000	12,000
設備関係支払手形	87,622	29,064
設備関係未払金	1,387,642	1,146,666
その他	26,089	26,928
流動負債合計	3,578,625	3,300,167
固定負債		
長期借入金	577,000	—
退職給付引当金	1,356,412	1,369,827
役員退職慰労引当金	165,900	173,800
長期預り金	4,689	4,605
長期未払金	133,496	133,496
固定負債合計	2,237,498	1,681,729
負債合計	5,816,124	4,981,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	6,681,658	6,831,407
自己株式	△176,557	△174,869
株主資本合計	12,576,814	12,728,251
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	158,170	34,899
評価・換算差額等合計	158,170	34,899
純資産合計	12,734,984	12,763,150
負債純資産合計	18,551,109	17,745,048

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	2,534,801	2,272,137
売上原価	*2 899,673	968,706
売上総利益	1,635,127	1,303,430
販売費及び一般管理費	*1 1,432,695	*1 1,472,788
営業利益又は営業損失(△)	202,431	△169,358
営業外収益		
受取利息	4,338	747
受取配当金	17,006	17,295
受取地代家賃	7,969	6,471
受取技術料	52,442	50,929
その他	7,119	5,413
営業外収益合計	88,876	80,857
営業外費用		
支払利息	—	1,932
固定資産除却損	4,672	4,662
寄付金	4,252	4,519
その他	1,651	2,371
営業外費用合計	10,576	13,485
経常利益又は経常損失(△)	280,731	△101,986
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,000
特別利益合計	—	2,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	280,731	△99,986
法人税、住民税及び事業税	43,497	4,474
法人税等調整額	76,101	△40,785
法人税等合計	119,598	△36,311
四半期純利益又は四半期純損失(△)	161,132	△63,674

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	280,731	△99,986
減価償却費	114,696	150,773
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△2,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,373	△13,415
賞与引当金の増減額(△は減少)	△196,198	△173,320
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,048	△21,130
受取利息及び受取配当金	△21,345	△18,043
支払利息	—	1,932
有形固定資産除却損	4,672	4,662
売上債権の増減額(△は増加)	158,240	205,527
たな卸資産の増減額(△は増加)	△82,331	△5,494
仕入債務の増減額(△は減少)	57,077	△76,020
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	51,975
未払消費税等の増減額(△は減少)	△720	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△7,900
その他	330,687	295,374
小計	613,089	292,936
利息及び配当金の受取額	21,345	18,043
法人税等の支払額	△81,379	△117,395
営業活動によるキャッシュ・フロー	553,055	193,584
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	700,000	—
有形固定資産の取得による支出	△146,229	△993,685
無形固定資産の取得による支出	△1,000	△4,097
投資有価証券の取得による支出	△647	△605
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△17,211	△5,748
投資活動によるキャッシュ・フロー	534,912	△1,004,136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2,375	△1,688
長期借入れによる収入	—	615,000
配当金の支払額	△68,799	△69,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,175	543,918
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,016,792	△266,633
現金及び現金同等物の期首残高	2,015,307	2,463,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 3,032,099	※ 2,196,605

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
1. 棚卸資産の評価方法	棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。
2. 固定資産の減価償却費の算定方法	固定資産の年度中の取得、売却及び除却等を見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
※有形固定資産の減価償却累計額は7,965,634千円であります。	※有形固定資産の減価償却累計額は7,893,904千円であります。

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)																																												
<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr><td>発送費</td><td>33,829千円</td></tr> <tr><td>広告宣伝費</td><td>68,542</td></tr> <tr><td>販売促進費</td><td>215,568</td></tr> <tr><td>給料手当及び賞与</td><td>391,202</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td>66,204</td></tr> <tr><td>役員賞与引当金繰入額</td><td>6,972</td></tr> <tr><td>退職給付引当金繰入額</td><td>42,648</td></tr> <tr><td>福利厚生費</td><td>50,624</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>27,441</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>11,761</td></tr> <tr><td>旅費及び交通費</td><td>72,371</td></tr> <tr><td>研究開発費</td><td>241,750</td></tr> </table> <p>※2. 売上原価には、17,864千円のたな卸資産評価損が含まれております。</p>	発送費	33,829千円	広告宣伝費	68,542	販売促進費	215,568	給料手当及び賞与	391,202	賞与引当金繰入額	66,204	役員賞与引当金繰入額	6,972	退職給付引当金繰入額	42,648	福利厚生費	50,624	賃借料	27,441	減価償却費	11,761	旅費及び交通費	72,371	研究開発費	241,750	<p>※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr><td>発送費</td><td>28,666千円</td></tr> <tr><td>広告宣伝費</td><td>78,545</td></tr> <tr><td>販売促進費</td><td>209,251</td></tr> <tr><td>給料手当及び賞与</td><td>472,065</td></tr> <tr><td>退職給付引当金繰入額</td><td>41,181</td></tr> <tr><td>福利厚生費</td><td>63,198</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td>27,057</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>11,643</td></tr> <tr><td>旅費及び交通費</td><td>71,258</td></tr> <tr><td>研究開発費</td><td>222,572</td></tr> </table> <p>賞与引当金繰入額は給料手当及び賞与に含めて表示しております。</p>	発送費	28,666千円	広告宣伝費	78,545	販売促進費	209,251	給料手当及び賞与	472,065	退職給付引当金繰入額	41,181	福利厚生費	63,198	賃借料	27,057	減価償却費	11,643	旅費及び交通費	71,258	研究開発費	222,572
発送費	33,829千円																																												
広告宣伝費	68,542																																												
販売促進費	215,568																																												
給料手当及び賞与	391,202																																												
賞与引当金繰入額	66,204																																												
役員賞与引当金繰入額	6,972																																												
退職給付引当金繰入額	42,648																																												
福利厚生費	50,624																																												
賃借料	27,441																																												
減価償却費	11,761																																												
旅費及び交通費	72,371																																												
研究開発費	241,750																																												
発送費	28,666千円																																												
広告宣伝費	78,545																																												
販売促進費	209,251																																												
給料手当及び賞与	472,065																																												
退職給付引当金繰入額	41,181																																												
福利厚生費	63,198																																												
賃借料	27,057																																												
減価償却費	11,643																																												
旅費及び交通費	71,258																																												
研究開発費	222,572																																												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)																
<p>※現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在)</p> <table> <tr><td>現金及び預金勘定</td><td>2,874,833 千円</td></tr> <tr><td>預金期間が3ヵ月を超える定期預金</td><td>△1,050,000</td></tr> <tr><td>有価証券勘定</td><td>1,207,266</td></tr> <tr><td>現金及び現金同等物</td><td>3,032,099</td></tr> </table>	現金及び預金勘定	2,874,833 千円	預金期間が3ヵ月を超える定期預金	△1,050,000	有価証券勘定	1,207,266	現金及び現金同等物	3,032,099	<p>※現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年6月30日現在)</p> <table> <tr><td>現金及び預金勘定</td><td>985,220 千円</td></tr> <tr><td>預金期間が3ヵ月を超える定期預金</td><td>—</td></tr> <tr><td>有価証券勘定</td><td>1,211,384</td></tr> <tr><td>現金及び現金同等物</td><td>2,196,605</td></tr> </table>	現金及び預金勘定	985,220 千円	預金期間が3ヵ月を超える定期預金	—	有価証券勘定	1,211,384	現金及び現金同等物	2,196,605
現金及び預金勘定	2,874,833 千円																
預金期間が3ヵ月を超える定期預金	△1,050,000																
有価証券勘定	1,207,266																
現金及び現金同等物	3,032,099																
現金及び預金勘定	985,220 千円																
預金期間が3ヵ月を超える定期預金	—																
有価証券勘定	1,211,384																
現金及び現金同等物	2,196,605																

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 34,838千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 412千株

3. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成21年6月25日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	86,074千円
② 1株当たり配当額	2.5円
③ 基準日	平成21年3月31日
④ 効力発生日	平成21年6月26日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	医療用 医薬品事業 (千円)	化粧品事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	1,663,269	510,288	361,242	2,534,801	—	2,534,801
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	13,487	13,487	(13,487)	—
計	1,663,269	510,288	374,729	2,548,288	(13,487)	2,534,801
営業利益	164,001	6,373	32,056	202,431	—	202,431

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	医療用 医薬品事業 (千円)	化粧品事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	1,540,503	485,310	246,322	2,272,137	—	2,272,137
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	12,440	12,440	(12,440)	—
計	1,540,503	485,310	258,762	2,284,577	(12,440)	2,272,137
営業利益又は営業損失(△)	△51,865	△77,826	△39,666	△169,358	—	△169,358

(注) 1. 事業区分の方法は、販売先及び流通経路を考慮し、医療用医薬品事業、化粧品事業、その他の事業にセグメンテーションをしております。

2. 各区分に属する主要製品・商品

事業区分	主な製品・商品
医療用医薬品事業	医療用医薬品
化粧品事業	一般用医薬品、医薬部外品、健康食品
その他の事業	医薬品原料、診断薬、輸出 他

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)については、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)については海外売上高が連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 369.93円	1株当たり純資産額 370.70円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額 (△)	4.67円	△1.85円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり当四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。	潜在株式調整後1株当たり当四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益又は四半期純損失(△)金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額 (△)		
四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	161,132	△63,674
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 (△)(千円)	161,132	△63,674
期中平均株式数(千株)	34,468	34,427

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年8月8日

わかもと製薬株式会社

取締役会 御中

京橋監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 下村 久幸 印

業務執行社員 公認会計士 中川 俊夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているわかもと製薬株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、わかもと製薬株式会社及び連結子会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更（1）に記載してあるとおり、通常の販売目的で保有するたな卸資産については、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日）が適用され、製品、商品、仕掛品、原材料及び貯蔵品の貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年8月10日

わかもと製薬株式会社
取締役会 御中

京橋監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 下村 久幸 印

業務執行社員 公認会計士 中川 俊夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているわかもと製薬株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、わかもと製薬株式会社及び連結子会社の平成21年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。